

## 第 91 回福岡メーデー　メーデー宣言

本日ここに、私たちはメーデー100年の節目を迎え、前例にない形で第91回福岡メーデーを開催することとなった。

労働者の日といわれるメーデーは、1886年に米国の労働者が1日8時間労働を求めてゼネストに立ち上がったことを起源としている。日本では、1920年5月2日に第1回メーデーが開催され、その後、戦争などにより一時禁止に追い込まれたが、第二次世界大戦後に力強く復活し、働く者の団結と連帯を通じて、労働者の地位や労働条件の向上、人権・労働基本権の確立などに深く貢献してきた。

このような歴史を踏まえ、100年の節目を契機として、今一度メーデーの原点に立ち戻り、労働組合が果たしてきた役割を振り返るとともに改めてすべての仲間が団結・連帯することの重要性を確認したい。

世界は今、新型コロナウイルス感染拡大の恐怖に脅かされており、感染者数の増加は止むことがなく、各国において外出や移動が制限・自粛され、経済や社会、そして雇用に与える影響も深刻化している。こうした厳しい状況の中においても、懸命に社会機能を維持するため、人々の命と健康を守るため、自らを省みず最先端で働き続けている方々の存在を再認識し、心からの敬意と感謝の意を表したい。

そのような状況下、私たちは新型コロナウイルスの影響で困難な状況に直面している方々に向き合い、その声を受け止めてきた。そして、働く者を代表する立場から政府や行政、政党などに対して感染拡大抑止を最優先として、生活の維持・確保、事業継続のための緊急措置など、大胆かつ速やかな対策を求めてきた。今後も引き続き、日々刻々と変化していく情勢に対して、すべての仲間の力を結集し、極めて厳しい未曾有の難局を乗り越えるために、労働組合としての社会的役割を果たしていかなければならない。

私たちは、すべての働く仲間をまもり・つなぐため、集団的労使関係を追及し、労働条件の改善や真の多様性が根付く職場・社会の実現に向け「私たちが未来を変える」との決意のもと、誰一人取り残されることのない公正な社会の実現と、平和・人権・環境がまもられ、笑顔あふれる未来の構築に向けて全力で取り組むことをここに宣言する。

2020年4月29日

第91回福岡メーデー